

## 第4回「牧之原市のくらしとエネルギーを考える」意見交換会(H28.11.14) 投票結果

	意見	投票数	順位
<b>1G</b>	①中高生も含めたエネルギーを考える会を継続的に開催する	11	<b>3</b>
	②我が家の省エネ宣言（限りある資源を有効に使うために）	1	
	③平時も情報発信の見える化をする（中電の意見をフィードバックする）	1	
	残しておきたいことを2つ		
	④		
	⑤		
<b>2G</b>	①色々な年齢層の方々がもっと気軽に学べる場が欲しい	2	
	②市民が行政や中電さんに具体的にしたい事を要求する	1	
	③現地研修＋意見交換会を人を替えて続けていく（よりたくさんの人に関わって考えてもらうために）	16	<b>1</b>
	残しておきたいことを2つ		
	④		
	⑤		
<b>3G</b>	①若いお父さんお母さんを入れながら地域ぐるみでサロン方式で勉強会	10	
	②図上避難訓練(津波のように) ヨウ素剤の飲む時？	1	
	③現地見学(福島地域・浜岡原発・様々なエネルギー施設)	3	
	残しておきたいことを2つ		
	④安心できるような安全とは？ 市民自ら学ぶ姿勢が大切	2	
	⑤		
<b>4G</b>	①大人の役目は現場を見に行くことなどを含め、学び続けること		
	②話し合いを持ち、問題点を明らかにしていく。話し合いの機会をつくる		
	③子供が自分で考えるような力を持たせる、育む		
	残しておきたいことを2つ		
	④大人と子供が同時進行で学んでいくことが大切		
	⑤		

	意見	投票数	順位
5G	①自分・若い人達が仕組み・知識・情報を正しく知ることができるよう、学ぶ場・機会に市民として参加していく	11	<b>3</b>
	②		
	③		
	残しておきたいことを2つ		
	④		
	⑤		
6G	①地域で専門家による勉強会（各エネルギー毎）		
	②小・中・高校生に対する考える授業（正確な情報を伝える）	15	<b>2</b>
	③省エネを推進する		
	残しておきたいことを2つ		
	④浜岡原発の安全性向上		
	⑤		
7G	①「見る」「聞く」「話す」ことでエネルギーに関する「学びの場」を広げていく	8	
	②見る・視察⇒浜岡原発他エネルギー施設	4	
	③聞く・学習会・勉強会⇒外部講師 積極的に参加	1	
	残しておきたいことを2つ		
	④話す・意見交換会(世代別・女性・地区別いろいろ)⇒第2回を実施(牧之原市のくらしとエネルギーを考える意見交換会)	2	
	⑤		
8G	①市民を対象としたエネルギーのセミナーとサロンを定期的を開催する！	4	
	②360度の目を持つ情報チェック機関をつくる！・市民・行政・専門家・各種関係機関	4	
	③中電のあくなき安全への追求！！	11	<b>3</b>
	残しておきたいことを2つ		
	④		
	⑤		